

# 衣替えする住宅

季節が変わると着替えるように、  
季節や環境に応じて自ら空間を着替えていくを提案します。

身体で季節の変化を感じ取り、  
環境に合わせて生活スタイルを  
変化することで空間を脱ぎ替しながら  
動きをとさせていきます。

夏: 暑いが暖かいからシャツ一枚でもいいかな。  
風が冷たいから上着を1枚羽織る。  
といったように空間を脱ぎ替ることで  
昨年までの住まい方を思い出しながら  
次の季節への準備を始めます。

高校生は地域住民と3つの空間の  
場所と時間を共有することで、  
隣近のまちなかとなるながら  
地域としての町を積み上げています。

去年、今年、来年、そろいつた順に並べて  
「冬を暖め返し感じる」と今までも、これからも、  
時をかねて、生きかげになると考えます。

## 敷地左側：戸建住宅3棟

それなりの密度が3戸の大型を含むように計画します。  
季節や環境の変化に応じ、各自生活のスタイルを選択していきます。  
少しでも多く人々が複数棟を持っていたことでGL部分は自由に活用します。



## 敷地右側：高校生のための学生寮とそれに付随する公共スペース

季節によって新陳代謝が起こる高校生が地域住民と積極的に接することにより、地域全体の賑わいが生まれていきます。  
高校生側に設置する高校生の通学路に繋がるようグリーン化することによって行き来が軽くなります。  
また、性別によるものに階級別でも活用しがちになります。



## 1: 木造のレイヤー

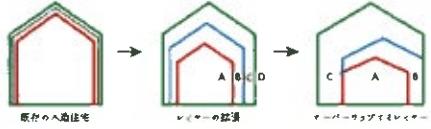
木造の壁レイヤーによる構成であります。  
RC造と異なり、木造は雨・風・光・音・熱・温湿などを、様々な外部環境ともそれぞれオーバーラップすることができます。  
ここで木造の壁レイヤーによる性質を4つ並べて示すと上記のとおりで、新しい木造の可能性を高めます。

W	100	80	60	40	20	0
RC	100	X	X	X	X	0

内部

## 2: レイヤーの拡張

既存の木造住居レイヤーによる構成によって開拓地のレノベル性質を持たせます。  
入居子供になったりママが育児マークを立てるなど子供の性質に合わせて柔軟に対応することができます。  
シーケンス空間に複数の内部を併せた空間を操作していくことで、空間活性化を実現することができます。



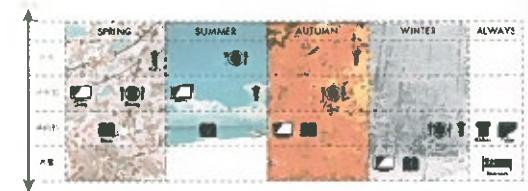
## 3: 4つの空間的特徴「外部・半外部・半内部・内部」

これら4つを外部・内部とは別に、半外部・半内部と呼んでいます。  
半外部は、外部を感じることで内空間が活きたり、「半内部」は半外部のテラス等を引き込んだながら  
外の空間となることで、不規則な構造空間になります。  
こうした複数の上位性を兼ねる上、空間重視ダイナミックとしての性質を持ちます。

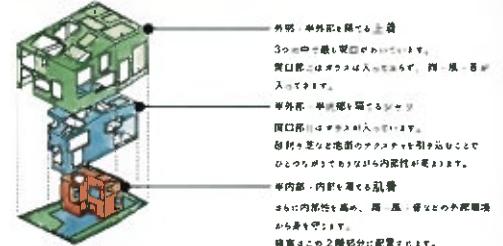


## 4: 空間を衣替えすることによるアクティビティの変化

アクティビティは季節に応じて4つの属性性と機能になります。  
季節の変化と共に移動しながら住み手は自分の場所を選択します。  
空間を衣替えすることで、実は心地よい気持ちで下着脱ぎ、冬は暖かく丸めてくつろぐことができます。



## 5. アクソメ図「上着・シャツ・肌着」



## 6. ゾーニング「戸建住宅・学生寮」

右側敷地：戸建住宅は分譲地と、各  
棟は上層を賣ります。アクティビティを  
保つべき部分が部屋・半戸戸・廊下等  
で確保されます。  
左側敷地：学生寮は3棟の組合せで  
うち上層は上層を賣ります。住  
戸の共用部が増加し、よりアラカル  
な空間が得られています。

